スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

宮城県利府町

自 治 体 名 ： 宮城県利府町
担 当 課 名 ： 教育総務課
電 話 番 号 ： 022-767-2179

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	44.89㎢
人口	35,828人
公立中学校数	3校
公立中学校生徒数	1,086人
部活動数 （運動部活動のみ）	24部活
地域クラブ活動数	0クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

本町の部活動は、「利府町中学校部活動ガイドライン」に基づき、生徒の自主的で多様な学びの場として各学校で適切に実施されている。

学校部活動を巡っては、これまで国や県の検討会議等で議論が行われ、少子化をはじめとする様々な課題が指摘されており、生徒のスポーツ・文化芸術等の活動が危惧されている。

本町においても、ニーズの多様化により、競技によっては学校単位でのチームが組めない部活動があり、活動への影響も出てきている。全ての生徒が、将来にわたりスポーツ・文化芸術等の活動に親しむことができる機会を確保するよう取り組んでいく必要があるため、令和6年度から、学識経験者、学校関係者、保護者の代表、スポーツ・文化芸術団体の代表者等で構成する「利府町教育環境整備検討委員会」を設置し、部活動地域展開を進めていくにあたっての検討を進めている。

多くの競技においては受け皿となる団体や指導者の確保等の課題が多く、町全体として地域展開を推進するための十分な実証事業を実施できていない状況にある。

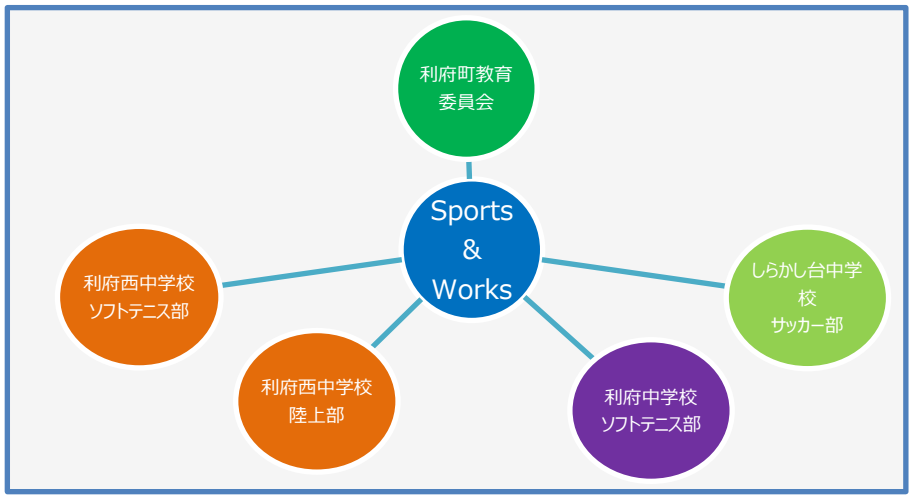
今後は、部活動地域展開の本格実施を見据え、学校・保護者・生徒が抱える具体的な懸念点（費用負担、送迎手段、指導の質等）を詳細に調査・分析するとともに、スポーツ施設が充実している本町の特性を活かした持続可能な地域移行モデルの構築に向け、課題を早急に明らかにしていかなければならない。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

担当：教育総務課

地域移行実証事業に係る運営、運営団体と学校間の連絡調整

◉コーディネーター

- 業務全体の連絡調整等を行う。
- 対象校や生徒、保護者等関係者との連絡体制を構築し、活動の実施に当たって必要な連絡調整を行うこと。
- 生徒や保護者等との連絡に当たっては、効率的な連絡体制を構築すること。

年間の事業スケジュール

令和7年9月	部活動地域移行体制整備業務委託契約 町内中学校へ事業の説明 地域移行希望部活動選定
令和7年11月	指導者顔合わせ 保護者説明会
令和7年12月	初回指導開始
令和8年2月	実証事業参加者へのアンケート等の実施 （教員、保護者、生徒） 事業完了

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		4クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		4クラブ（4部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		0クラブ
全体の指導者数	10人	全体の運営スタッフ数	3 人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
利府中学校ソフトテニスクラブ	法人	ソフトテニス	・休日　1回	9:00～12:00	1年生22人 2年生26人	12月～2月	3人	3人 （内、兼務3人）	なし	中体連：部活動
利府西中学校陸上クラブ	法人	陸上	・休日　1回	9:00～12:00	1年生4人 2年生3人	12月～2月	2人	3人 （内、兼務3人）	なし	中体連：部活動
利府西中学校ソフトテニスクラブ	法人	ソフトテニス	・休日　1回	9:00～12:00	1年生18人 2年生4人	12月～2月	3人	3人 （内、兼務3人）	なし	中体連：部活動
しらかし台中学校サッカークラブ	法人	サッカー	・休日　1回	9:00～12:00	1年生10人 2年生8人	12月～2月	2人	3人 （内、兼務3人）	なし	中体連：部活動

2.実証内容と成果

スポーツ庁

主な取組例

●利府中学校ソフトテニスクラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトテニス
運営団体名	（株）Sports＆Works
期間と日数	月4回程度（土曜日）
指導者の主な属性	（株）Sports＆Works所属
活動場所	利府中学校　ソフトテニスコート
主な移動手段	徒歩
1人あたりの参加会費等（年額）	なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●コーディネーター・コーディネーター補佐

役割：練習場所の調整等を行う

●指導者　3名

役割：ソフトテニスの指導を行う

●システム管理責任者

役割：個人情報管理業務・日報確認業務

2.実証内容と成果

スポーツ庁

主な取組例

●利府西中学校陸上クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上
運営団体名	（株）Sports＆Works
期間と日数	月4回程度（土曜日）
指導者の主な属性	（株）Sports＆Works所属
活動場所	利府西中学校　グラウンド
主な移動手段	徒歩
1人あたりの参加会費等（年額）	なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●コーディネーター・コーディネーター補佐

役割：練習場所の調整等を行う

●指導者　2名

役割：陸上の指導を行う

●システム管理責任者

役割：個人情報管理業務・日報確認業務

2.実証内容と成果

スポーツ庁

主な取組例

●利府西中学校ソフトテニスクラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトテニス
運営団体名	（株）Sports＆Works
期間と日数	月4回程度（土曜日）
指導者の主な属性	（株）Sports＆Works所属
活動場所	利府西中学校　ソフトテニスコート
主な移動手段	徒歩
1人あたりの参加会費等（年額）	なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●コーディネーター・コーディネーター補佐

役割：練習場所の調整等を行う

●指導者　3名

役割：ソフトテニスの指導を行う

●システム管理責任者

役割：個人情報管理業務・日報確認業務

2.実証内容と成果

スポーツ庁

主な取組例

●しらかし台中学校サッカークラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー
運営団体名	（株）Sports＆Works
期間と日数	月4回程度（土曜日）
指導者の主な属性	（株）Sports＆Works所属
活動場所	しらかし台中学校　グラウンド
主な移動手段	徒歩
1人あたりの参加会費等（年額）	なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●コーディネーター・コーディネーター補佐

役割：練習場所の調整等を行う

●指導者　2名

役割：サッカーの指導を行う

●システム管理責任者

役割：個人情報管理業務・日報確認業務

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

1. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制

- 関係機関（三者）による協議・連携体制・連絡体制整備
- 生徒・保護者との合意形成および連絡体制の構築
- 活動現場における調整・危機管理体制

2. 運営団体・実施主体の整備の取り組み事項

- 指導者配置の整備
- 人材の質の担保と育成（指導助言・研修）
- 事業運営・管理基盤の整備

取組の成果

1. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制

- 事業開始前および実施中における、受注者・対象校・教育委員会の三者による連絡会を開催
- コーディネーターを中心とした、対象校・生徒・保護者等との効率的な連絡体制として独自の管理アプリを使用　等

2. 運営団体・実施主体の整備の取り組み事項

- 専門種目の指導者を配置
- 事前の指導方針調査をもとに指導を実施
- 指導者への事前研修実施された（ハラスメント・心肺蘇生法等の研修）

等

今後の取組における課題

1. AEDの設置場所増設・・・緊急時に短時間で取得できる範囲に設置をする
2. 指導期間の検討・・・今回は2か月と短期間だったことと、時期が冬場で活動回数の確保ができなかった
3. 校内部活動の実施場所の確保・・・クラブで休日の校内を使用することが不可とされているので、その代替えの場所を検討する

課題への対応方針

1. 町・教育委員会と管理会社でのAED増設検討・・・管理会社との契約期間の課題を解決して実行へ
2. 今年度実施の部活動は来年度の早期からの指導実施を検討・・・6月から開始して長期的な期間を行う
3. 休日の校内管理の整備を検討（守衛の設置　等）

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

コーディネーターの具体的な動きの実績

- 事業開始前および実施中における、受注者・対象校・教育委員会の三者による連絡会の開催
- 対象校・生徒・保護者等との効率的な連絡体制の構築（独自の管理アプリの導入・運用）
- 対象校・関係者との協議を通じた、活動日の調整および活動場所の確保
- 活動中の事故やトラブル等への対応、活動中止の判断・関係者への連絡方法のマニュアル化
- 練習時における指導の様子の確認、子供たちへのヒアリング等の視察業務

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

- 事業開始前の連絡会における、AEDの設置場所および確保方法の確認
- 指導者を対象とした事前研修の実施（CPR・AED講習、ハラスメント防止研修等）
- 日報を通じた、活動内容や怪我・トラブル等の有無の確認
- 学校顧問との適時かつ適切な情報共有

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

- コーディネーターの導入
- 運営団体開発の独自の管理アプリの導入
- 保護者からの連絡を管理アプリ内で対応
- 日程連絡を管理アプリで送付する

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

- 活動中の事故やトラブル等への対応、活動中止の判断・関係者への連絡方法のマニュアル化
- 保護者とコーチの連絡やり取りを管理アプリで行い、個人間でのやり取りではなく運営団体全体で対応する

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

- 指導者を対象とした事前研修の実施（CPR・AED講習、ハラスメント防止研修等）
- 学校顧問の兼職兼業による指導体制の確保
- コーディネーターの練習視察および、適時適切なアドバイスの実施

今後の取組における課題

- 実施競技の増加に伴う指導者確保・・・休日に活動時間を確保できる指導者を確保することが最優先
- 生徒人数に合わせた指導者人数対応（10名につき1名等）・・・充実した指導と生徒間のトラブル発生の抑止力として
- 継続した指導可能な指導者確保・・・時間的な拘束に対応できる指導者の確保が最優先

取組の成果

- 事前研修の徹底等による、ハラスメント事案の発生ゼロ（トラブルの未然防止）
- 学校顧問の兼職兼業制度の活用による、安定的な指導者数の確保
- 平日活動への専門的な指導の導入（練習の質的向上）

課題への対応方針

- 県の指導者人材バンクの活用
- 委託業者の人材活用
- 兼職兼業の拡大

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

多様な人材の発掘・配置に向けた取組

委託業者【Sports＆Works】の人材バンク「スポーツ人財.com」を使用して指導者を確保

外部指導者としてすでに関わっていた指導者を活用

指導者募集のSNS等での発信を行う

指導者研修の内容

研修名	信頼される指導員として－CPR＋AED　研修－
講師	根本　慎也
研修内容	心肺蘇生法とAEDの使用方法に関する研修 ・心肺蘇生法の手順の確認 ・AEDの使用時の注意点の確認認

指導者研修受講者の声

●参加者の声

参加者①
CPRとAEDについての知識はあったがスポーツ時に心肺停止等が起こる可能性についてより詳しく学べたので良かった。

参加者②
心臓停止と呼吸停止が発生してから経過時間によって死亡率が高くなることをしれて、より早く対応しなければいけないことを認識できた。

指導者の資格取得促進に向けた取組

今回の事業では実施していない

平日・休日の一貫指導に関する取組

- 管理アプリによる「日報」を通じて学校顧問が指導内容を把握できるように運営
- 兼職兼業を採用し、休日の指導にも学校顧問が参加

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

本事業は初年度ということもあり、当初想定していたものに加え、多岐にわたる課題が浮き彫りとなった実証事業であった。

調査段階で希望のあった候補部活動が開始直前に変更となり、指導者の再調整や活動内容の再検討が生じた結果、指導開始が遅れ、実施期間が短縮せざるを得ない状況となった。

一方で、指導者派遣においては、委託先であるSports＆Works社による事前研修の成果によりハラスメント等のトラブルなく円滑に運営できた。

適時の研修実施が指導者の意識啓蒙に繋がったことは大きな収穫である。

また、現行のAED設置状況では地域移行後の対応が困難であるという、次年度に向けた明確な課題も特定できた。

実施期間は短縮されたものの、初年度を大きなトラブルなく完遂できたことは、一定の成果があったと評価できる。

●成果の評価

（１）参加生徒への承諾書等の徴取

⇒アナログ（紙）とデジタルの併用により、回収経路を複数確保したことで、未提出等のエラーを最小限に抑え、迅速な回収を実現した。

（２）連絡会等の開催

⇒学校・教育委員会・委託業者の三者間で適時連絡会を実施し、緊密なコミュニケーションを図ったことで、円滑な意思決定と情報共有がなされた。

（３）指導者の配置

⇒指導者アンケートおよび生徒・保護者アンケートにおいて高い満足度を得ており、各部活動の特性に応じた適切な人材配置が達成された。

（４）コーディネーターの配置

⇒学校と外部団体の橋渡しを担うコーディネーターを適切に配置した。アンケート結果からも、調整業務が円滑に機能していたことが裏付けられた。

（５）事業完了報告書・成果報告書等の作成

⇒単なる実施報告に留まらず、次年度の施策立案に直結する定量・定性データの収集を行い、実効性の高い課題抽出を完了した。

●今後に向けて

- 実施期間の長期化
- AEDの設置問題の解決
- 対象部活動数の増設　等の課題解決を進めていく

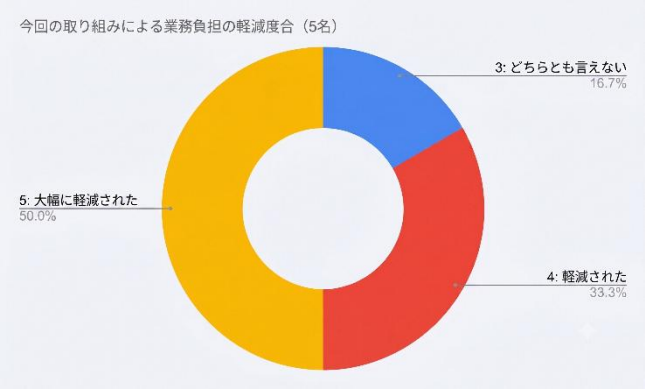
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

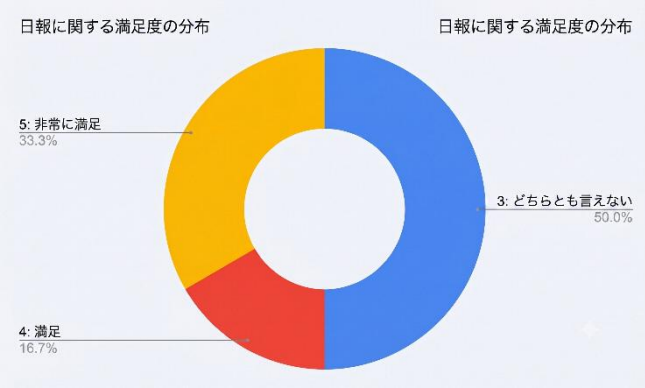
アンケート結果・参加者/関係者の声

●アンケート結果

Q.今回の取り組みによる業務負担の軽減度合（教員5名）



Q.日報に関する満足度（教員5名）



●参加者/関係者の声

軽減された点

専門的な指導の勉強をしなくてよくなり、自分の時間を確保できた。
休日の部活動を行ってもらったので、時間外勤務が無くなった。
生徒数が多いので指導負担が軽減できた。準備物等の対応が軽減した。

日報が学校との情報共有に役立ちましたか？

休日練習の内容がわかり、平日練習にも活用できた。
ケガの有無を確認できたので良かった。

クラブ活動と学校の連携で感じた点

用具やAEDの準備等、問題なく行えていました。
体育館の施錠方法の事前共有が必要だと思いました。
日頃から学校の指導方針を理解していて非常に協力的な方でしたので、活動もスムーズにできました。

コーディネーターと学校の連携で感じた点

何度も活動に足を運んでいただき、感謝しております。我々の気持ちを聞きながら対応してくださったことがありがたかったです。今後ともよろしくお願いします。
土曜日の前日までにコートの状況や実施の有無を共有できていたので、問題なく進めることができました。

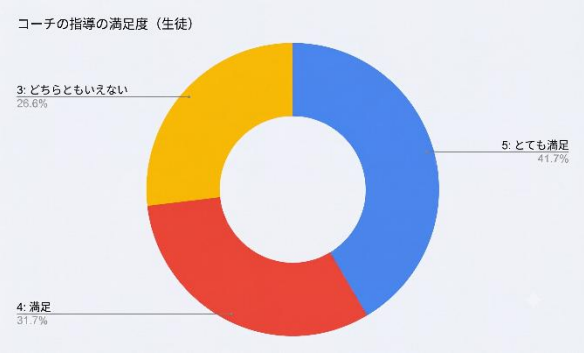
2.実証内容と成果③

スポーツ庁

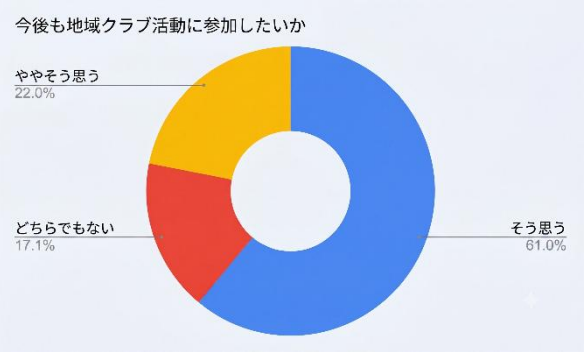
アンケート結果・参加者/関係者の声

●アンケート結果

Q.コーチの指導の満足度(生徒41名)



Q.今後も地域クラブ活動に参加したいか？（生徒41名）



●参加者/関係者の声

コーチの指導についての感想

その都度練習の仕方の手本を教えてもらい、練習しているうちに打ち方等を覚えることが出来ました。（利府西ソフトテニス）

今までやったことのない練習や一人一人への指導が的確で良いと思います。指導のおかげで成長できた部分もあると思います。（しらかし台サッカー）

一連の流れが事前に報告されていたため、どこの練習でこのくらいの力感でやればいいということが分かり良かった。また、練習一つ一つの目的が明確であった。（利府西陸上）

クラブ活動を通じて自分が成長できたと思う点があればご記入ください

細かい技術まで指導していただいたので、基礎を改めて学ぶことができたこと（利府西ソフトテニス）

コーチの練習はいつもよりリフティングが多く練習できるので基礎能力が上がったと思います。（しらかし台サッカー）

アップをいつもより大切にする。（利府西陸上）

今回のクラブ活動に参加してみての感想をご記入ください

普段と違ったメニューで今まで出来なかった事が少しでもできるようになったことが嬉しかったです。（利府西ソフトテニス）

もっとコーチから吸収したり、学んだりしたいと思いました。（しらかし台サッカー）

自分でメニューを決めるのとは違ったため、新鮮だった。（利府西陸上）

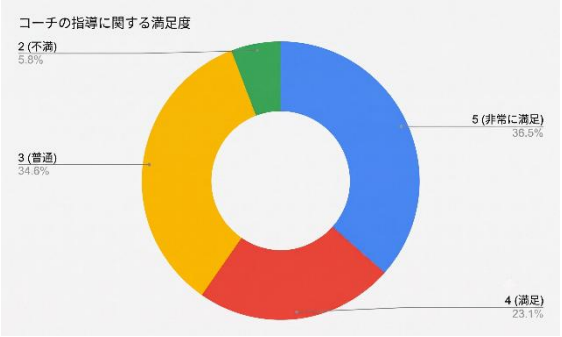
2.実証内容と成果④

スポーツ庁

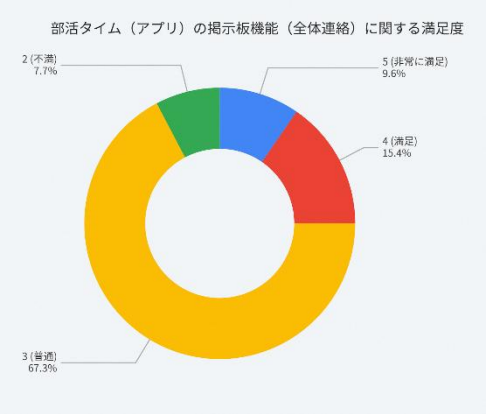
アンケート結果・参加者/関係者の声

●アンケート結果

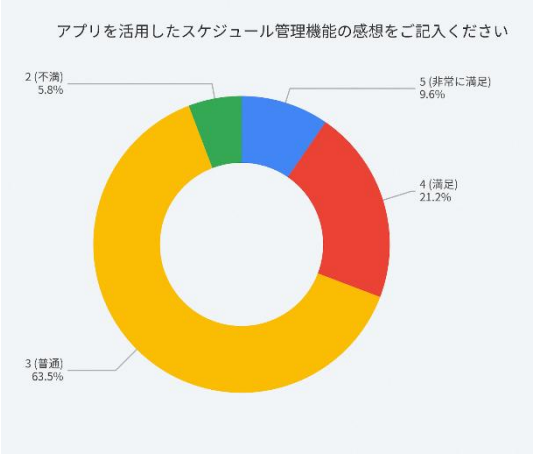
Q.コーチの指導に関する満足度（保護者51名）



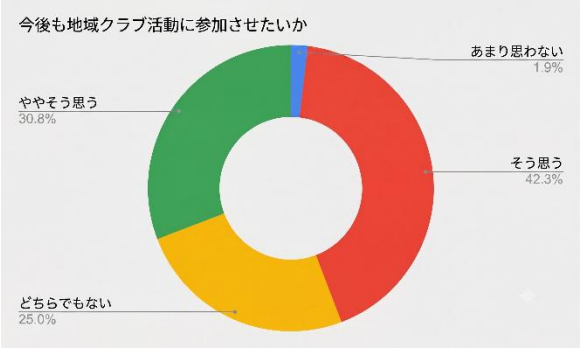
Q.部活タイム（アプリ） の掲示板機能（全体連絡）に関する満足度（保護者51名）



Q.部活タイム（アプリ） でのスケジュール管理に関する満足度（保護者51名）



Q.今後も地域クラブ活動に参加させたいか（保護者51名）



●参加者/関係者の声

部活タイム（アプリ） でのスケジュール管理の感想

スケジュール管理が見やすく、分かりやすかったです。
やりとりがスムーズで便利
地域移行は土日だけと承知してますが、スケジュール管理だけは、部活全体（平日も）まとめてくれたら、活用は増えると思う。今はただ時間を確認するだけに留まるだけで、とてももったいない。

クラブ活動を通じて得られたお子様の成長等

今までも真剣に取り組んでいる様子をみていましたが、更に上達したいという気持ちが感じられました。
経験者の方のご指導により、陸上への意欲が高まったと感じております。
休みの日、寒い日でも自ら朝早く起きて行っていたので充実した部活動を過ごせたのだろうと感じました。

2.実証内容と成果⑤

スポーツ庁

参考資料



【利府中学校ソフトテニス練習風景】



【利府中学校ソフトテニス練習風景】



【利府中学校ソフトテニス練習風景】



【利府中学校ソフトテニス練習風景】

2.実証内容と成果⑥

スポーツ庁

参考資料



【利府西中学校ソフトテニス練習風景】



【利府西中学校ソフトテニス練習風景】



【利府西中学校ソフトテニス練習風景】



【利府西中学校ソフトテニス練習風景】

2.実証内容と成果⑦

スポーツ庁

参考資料



【利府西中学校陸上練習風景】



【利府西中学校陸上練習風景】



【利府西中学校陸上練習風景】



【利府西中学校陸上練習風景】

2.実証内容と成果⑧

スポーツ庁

参考資料



【しらかし台中学校サッカー練習風景】



【しらかし台中学校サッカー練習風景】



【しらかし台中学校サッカー練習風景】



【しらかし台中学校サッカー練習風景】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年度	令和6年度	令和7年度			令和8年度
部活動地域移行に関する意識調査	教育環境整備検討委員会の設置	部活動地域移行ガイドライン策定	実証事業の実施	生徒、保護者、指導者のアンケートの実施	実証事業対象クラブの拡大

【部活動地域移行に関する意識調査】

●実施時期 R5.12

●対象

小学4･5･6年･中学1･2年の児童生徒、保護者、中学校教職員、町内団体

●調査概要 意識、考えの把握、課題、今後の方向性の検討資料とする

【教育環境整備検討委員会】

●委員構成

学識経験者、小中学校の代表、PTA、
町内活動団体

●実施内容

第1回 R6.10

･部活動地域移行に関する意識調査の結果概要

･意見、要望等の課題の検討

第2回 R6.12

･他市の先行事例の紹介

第3回 R7.3

･令和7年度の取組みについて

【令和7年度の実証事業】

●ステークホルダー

学校、町教育委員会、民間事業者

●経過

9月 民間事業者と契約締結
地域移行希望部活動選定

10月 学校との調整

11月 コーチ顔合わせ
保護者説明会

12月 初回活動開始

12月～2月 事業実施

2月 アンケートの実施

●実施内容

事務局業務、指導者の派遣等を町が契約した民間事業者に委託し、既存の一部部活動に外部指導者を派遣し、地域クラブ活動として希望する生徒に参加してもらう形式で実施。実証事業の効果検証、学校･保護者･生徒の抱える具体的な課題の洗い出しを行う。

【令和8年度以降の予定】

令和7年度の実証事業に係るアンケート調査により検証を行い、検証成果をもとにガイドラインの改訂を行う。

部活動地域展開の本格実施を見据え、令和8年度においても実証事業を継続して実施し、学校･保護者･生徒が抱える具体的な懸念点（費用負担、送迎手段、指導の質等）を詳細に調査･分析するとともに、本町の特性を活かした持続可能な地域展開のモデルを構築していく。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	主な取組事項
令和5年度	令和5年12月：アンケートの実施（小4～6年児童・保護者、中1～2年生徒・保護者、中学校教員、町内関係団体） 令和6年3月：学校向け説明会の実施
令和6年度	令和6年10月：教育環境整備検討委員会の設置・開催
令和7年度	令和7年10月：部活動地域移行ガイドライン策定 令和7年12月：スポーツ庁委託事業　地域スポーツクラブ活動体制整備事業実施（3校4部活） 令和8年2月：アンケートの実施（小4・5年児童・保護者）、実証事業実施後アンケートの実施（対象生徒・保護者・指導者） 令和8年3月：教育環境整備検討委員会の開催
令和8年度	• 地方スポーツ振興費補助金（運動部活動の地域展開等推進事業）により実証事業を実施予定 • 教育環境整備検討委員会の開催